

## 入札説明書

令和 3 年札幌市告示第 3 号に基づく入札等については、札幌市契約規則、札幌市物品・役務契約等事務取扱要領その他関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 告示日 令和 3 年 1 月 4 日

### 2 契約担当部局

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目  
札幌市市民文化局市民生活部アイヌ施策課  
電話 011-211-2277 (FAX 011-218-5153)

### 3 入札に付する事項

- (1) 役務の名称 アイヌ文化交流センターチセ内展示機能の充実に係る設備機器設置業務
- (2) 仕様等 仕様書のとおり。
- (3) 履行期間 契約締結日から令和 3 年 3 月 31 日までとする。
- (4) 履行場所 仕様書のとおり。
- (5) 入札方式 事後審査入札方式
- (6) 入札方法 総価で行う。なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 10%に相当する額を加算した金額(当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

### 4 入札参加資格

- (1) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成 30～令和 2 年度札幌市競争入札参加資格者名簿(物品・役務)において、業種が大分類「一般サービス業」であり、中分類が「情報サービス、研究・調査企画サービス業」または「市有施設等小規模修繕業」または「その他サービス業」に登録されている者であること。
- (3) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者(手続開始の決定後の者は除く。)等経

営状態が著しく不健全な者でないこと。

- (4) 札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を受けている期間中でないこと。
- (5) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が構成員単独での入札参加を希望していないこと。
- (6) 本業務にかかる役務の提供が十分に可能なものであること。

## 5 入札書の提出場所等

- (1) 入札書の提出場所、契約条項を示す場所及び問い合わせ場所

上記2に同じ。なお、入札説明書は下記URLのホームページからもダウンロードできる。

<http://www.city.sapporo.jp/shohi/keiyaku/ippanyoso/ippan.html>

- (2) 入札書の受領期限

令和3年1月12日（火）9時00分（送付による場合は必着）

- (3) 入札書の提出方法

入札書は、別紙1の様式にて作成し、持参又は送付により提出すること。なお、提出にあたっては以下に留意すること。

ア 入札書を直接持参する場合は封筒に入れ封印し、かつ、その封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「令和3年1月12日（火）11時00分開札「アイヌ文化交流センターチセ内展示機能の充実に係る設備機器設置業務」の入札書在中」の旨を記載し、上記2あてに入札書の受領期限（令和3年1月12日（火）9時00分必着）までに提出しなければならない。

イ 入札書を送付により提出する場合は二重封筒とし、外封に「令和3年1月12日（火）11時00分開札「アイヌ文化交流センターチセ内展示機能の充実に係る設備機器設置業務」の入札書在中」の旨を記載し、上記2あてに入札書の受領期限までに送付しなければならない。

なお、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認めない。

ウ 入札者はその提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

- (4) 仕様等に対する質問

ア 質問の提出方法

書面（様式は自由）による持参又はファクシミリにより提出すること。なお、ファクシミリ送信後は、必ず電話にて着信確認すること。

イ 質問の提出先及び提出期限

上記2の契約担当部局へ、令和3年1月7日（木）17時00分までの間で提出すること。

#### ウ 質問に対する回答

下記ホームページにて、随時掲載する。したがって、質問を提出する前に、必ず同様の質問及びその回答が掲載されていないかを確認すること。

<http://www.city.sapporo.jp/shohi/keiyaku/ippankyoso/ippan.html>

なお、本件入札に直接関連する質問に対してのみ回答を行うものとし、全ての質問に回答するとは限らない。

#### (5) 入札の無効

ア 本説明書に示した入札参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に違反した者のした入札その他札幌市契約規則第 11 条各号の一に該当する入札は無効とする。

イ 札幌市物品・役務契約等事務取扱要領第 13 条に定める入札参加資格要件の審査書類の提出の指示があつたにもかかわらず、指定された期日までに当該書類の提出がなされなかったときは、当該入札書は無効とする。

#### (6) 入札の延期等

次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、またはこれを取り消すことがある。

ア 入札者が相連合し、または不穩の挙動をする等の場合であつて、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

イ 天災その他やむを得ない事情が発生した場合であつて、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

ウ 発注を取りやめ、または発注内容の仕様等に不備があつたとき。

#### (7) 代理人による入札

ア 代理人が入札する場合には、入札書に競争入札参加資格者の氏名または名称及び住所並びに代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国人の署名を含む。）をしておくとともに、入札時に委任状（別紙 2）を提出しなければならない。

イ 入札者またはその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

#### (8) 開札

ア 開札は、入札後直ちに上記（2）の場所において、入札者またはその代理人を立ち合わせて行う。

イ 入札者またはその代理人は、入札時刻後においては、入札場に入場することはできない。

ウ 入札者またはその代理人は、入札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書または入札権限に関する

委任状（別紙２）を提示しなければならない。

エ 入札者またはその代理人は、入札執行職員またはその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札場を退場することができない。

オ 開札をした場合において、入札者またはその代理人の入札のうち、予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないときは、再度の入札を行う。なお、再度入札の回数は、原則として２回を限度とする。入札者またはその代理人で希望する者は、開札に立ち会うことができる。

## 6 その他

### (1) 入札保証金 免除

### (2) 契約保証金 要

契約を締結しようとする者は、契約金額の 100 分の 10 に相当する額以上の契約保証金またはこれに代える担保を、落札決定後、契約保証金の納付に係る通知（納入通知書到達）の日の翌日から起算して 5 日後（5 日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）までに、納付し、または提供しなければならない。

なお、指定期日までに納付または提供がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第 25 条各号の一に該当するときは、契約保証金の納付を免除することがある。

### (3) 落札者の決定方法

#### ア 落札者の決定

札幌市契約規則第 7 条の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札候補者として、落札保留のうえ下記ウの審査を行い、その結果、入札参加資格を有する者と確認できた場合に、当該落札候補者を落札者とする。

#### イ 同額抽選

落札候補者となるべき同価の入札をした者が 2 人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札候補者の審査の順位を決定するものとする。

この場合において、当該入札者またはその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

#### ウ 入札参加資格の審査

落札の決定を保留した後、落札候補者が、入札参加資格を有する者であるかを審査するので、落札候補者は、入札執行者の指示があった日（原則として開札日）

の翌日から起算して3日以内（土曜日、日曜日及び休日を除く。）に、上記4に掲げる競争入札参加資格を有することを証する書類を提出しなければならない（下記(5)参照）。

なお、指定期限までに提出がない場合は、当該落札候補者を、入札参加資格のない者のした入札とみなし無効とする。

エ 入札参加資格を有しなかった者の取扱い

上記ウの審査の結果、落札候補者が、入札参加資格を有しない者であることを確認した場合は、その者の入札を無効とする。この場合において、予定価格の制限の範囲内で、最低の価格をもって入札（有効な入札に限る。）した者を、新たな落札候補者として、上記ウの審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手続きを繰り返す。

(4) 入札者に要求される事項

ア この一般競争入札に参加を希望する者は、上記4に掲げる競争入札参加資格を有することを証明する書類を入札関係職員の求めに応じ提出しなければならない。

また、当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

イ 入札参加者は、本入札説明書、仕様書、契約書案等については、疑義がある場合は、関係職員に説明を求めることはできるが、入札後は、これらの不明を理由として異議を申し出ることにはできない。

(5) 入札参加資格の審査に係る書類

ア 一般競争入札参加資格確認申請書（別紙3）

イ 事業協同組合等にあつては、組合員名簿

(6) 落札の取消し

落札者が次の各号の一に該当するときは、当該落札を取り消すものとする。

ア 契約の締結を辞退したとき、または市長の指定した期日内に契約を締結しないとき。

イ 契約保証金の納付義務のある者が、指定する期日までに、契約保証金の納付がなかったとき。

ウ 入札に際し不正な行為をしたと認められるとき。

エ その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき。

(7) 免税事業者であることの申出

落札者が消費税法（昭和63年法律第108号）に基づく消費税及び地方税法（昭和25年法律第226号）に基づく地方消費税に関し、免税事業者である場合、申出書（別紙4）を提出することとする。

(8) 契約書の作成

ア 競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、遅滞なく契約書を取り交

わすものとする。ただし、契約保証金の納付義務がある場合は、その納付が確認された後とする。

イ 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名押印し、更に市長が当該契約書の案の送付を受けてこれに記名押印するものとする。

ウ 上記イの場合において市長が記名押印したときは、当該契約書の1通を契約の相手方に送付するものとする。

エ 市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

(9) 契約条項 別紙5のとおり

(10) 入札参加資格が認められなかった者に対する理由の説明

入札参加資格が認められなかった者は、入札参加資格が認められなかった理由について、入札が行われた日の翌日から起算して10日以内（土曜、日曜及び祝日は除く）に、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

ア 提出場所 上記2に同じ

イ その他 提出は持参することにより提出するものとし、送付または電送によるものは受け付けない。